

各部会報告資料

- ・子ども部会（P2-4）
- ・就労部会（P5-6）
- ・相談支援部会（P7-8）
- ・精神障がい者地域移行支援部会（P9-11）

こども部会活動報告（令和6年度第1回）

1 部会の目的

障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、「障がい児とその保護者を支援する」という共通理解のもと、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

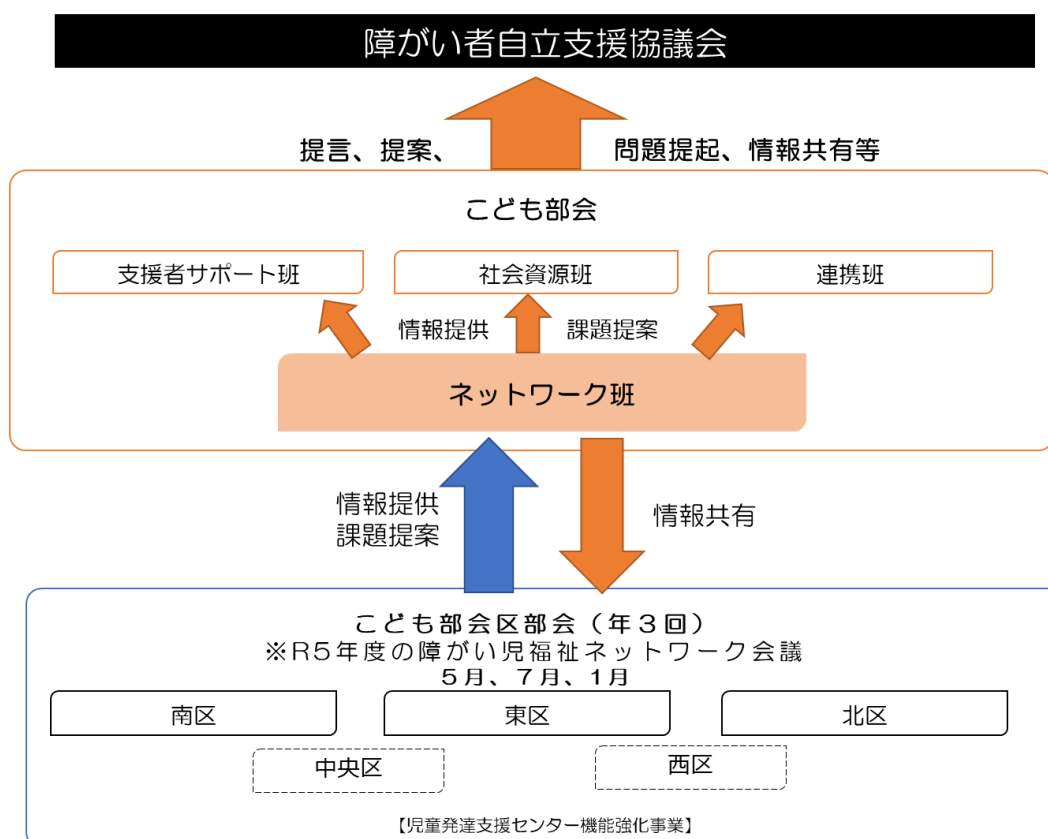
2 令和6年度の運営体制

令和3.4.5年度は障がい児のライフステージに応じた班体制を取っていたが、令和6年度からは、児童発達支援センター機能強化事業における取組のひとつであるこども部会区部会（旧：障がい児福祉ネットワーク会議）にて上がった地域課題に応じた班体制にて運営を行う。

また、2か月に1回程度部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）

<こども部会と区部会のイメージ図>



3 令和5年度の実績

(1) 各組の実績

① A組（未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：相談の場、福祉サービスにつながるまでの空白の時間の課題整理と対応

令和5年度実績

- ・初めて福祉サービスを利用する保護者を対象とし、児童発達支援に関連する用語（キーワード）を用いて資料を作成した。
- ・今後は、各区役所の保健こども課で使用されている案内と照らし合わせ、上記資料が活用できるか検討した。

② B組（小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：アンケート結果をふまえ、課題抽出と啓発を行う

余暇支援マップの見直しやリーフレット配布を通して情報発信を行う

令和5年度実績

- ・余暇支援マップの書式の決定。
- ・余暇支援マップ作成に係る調査の準備および実施。
- ・完成した余暇支援マップの活用について検討。

※新しく聞き取り用紙を作成し、既存の情報を元に変更点がないか各施設に聞き取りを行い、とりまとめ済。令和6年8月、市のHPに掲載予定。

③ C組（高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む）

テーマ：アンケートを通して見えてくる現状からの在学中、卒業後の生活支援と課題について

令和5年度実績

- ・熊本市に在する高校に対するアンケート調査の集計を行った。
- ・回答データからの考察を行った。高等学校への情報提供（収集した情報の還元方法）については引き続き要検討。
- ・高等学校における障がい理解に係る周知啓発を進めるため、サポーター研修等を知ってもらう機会の創出を検討した。

※アンケート結果および課題と提案については別紙参照

4 令和6年度の取組予定

(1) ネットワーク班

テーマ：地域における子どもに関する課題の集約・整理と発信

活動予定：①ミニ研修会の開催

②各地域で開催されている会議等の整理

③子どもプラグの作成

(2) 支援者サポート班

テーマ：関係機関同士の相互理解を深める

活動予定：①地域の子育てを支援する機関を知る

②①と福祉サービスの違いを知る

③各区部会で挙げた課題に対する取り組み

(3) 社会資源班

テーマ：保護者の方や支援者の方が手に取りやすい情報やシステム作り

活動予定：①成果物の整理

②余暇支援マップの周知・更新・見直し

(4) 連携班

テーマ：アンケートを通して見えてくる3年間の経過と在学中、卒業後の生活支援と課題

成長過程における支援と関係機関の連携や情報提供を行う

活動予定：①高等学校へのアンケートの継続と啓発活動について

②成長に応じた支援と情報提供について（リーフレット作成）

就労部会活動報告（令和6年度第1回）

1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

2 令和5年度の取組実績

（1）運営体制

4つの班構成（企業就労班、福祉就労班、当事者対話班、熊本DX班）で各班作業に取り組んだ。

（2）取組内容

①企業就労班

<企業就労グループ>

- ・『しごといく vol.10』の作成
- ・企業への雇用受入れの周知・啓発
- ・企業就労やサポート企業・団体の啓発

<定着支援グループ>

- ・一般就労後の定着に関する検討（企業との連携）

②福祉就労班

<事業所支援グループ>

- ・事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理

<工賃向上グループ>

- ・事業所における事業収入を増やしていくための検討

③当事者対話班

- ・当事者の視点から就労に関する悩みや提案を検討

④熊本DX班

- ・在宅就労やデータ作業等が推進されている社会状況を踏まえ、障がい者雇用の可能性を広げていくための新しい働き方の検討

〔令和5年度班活動の成果物〕

しごといく vol.10（企業就労班）

3 令和6年度の取組予定

(1) 運営体制

引き続き昨年度と同じ班構成で、一般就労の視点・福祉的就労の視点・当事者の視点を踏まえ、課題に取り組む。

毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

(2) 取組内容

①企業就労班

<企業就労グループ>

- | | |
|-------------------|--------------|
| ・ 企業への雇用受入れの周知・啓発 | ・ 「しごといく」の作成 |
| ・ サポート企業の啓発 | |

<定着支援グループ>

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・ 障がい者雇用を行う企業との連携 | ・ 職場生活相談員へのアンケート |
|-------------------|------------------|

②福祉就労班

<事業所支援グループ>

- | | |
|------------------------------|------------------|
| ・ 利用者支援についての質の向上 | ・ 事業所間のネットワークの構築 |
| ・ 事業所における支援や環境等に関する困り事の共有・整理 | |

<工賃向上グループ>

- | |
|---------------------------|
| ・ 事業所における事業収入を増やしていくための検討 |
|---------------------------|

③当事者対話班

- | |
|--------------------------|
| ・ 当事者の視点から就労に関する悩みや提案を発信 |
|--------------------------|

④熊本 DX 班

- | |
|---|
| ・ 在宅就労やデータ作業等が推進されている社会状況を踏まえ、障がい者雇用の可能性を広げていくために、新しい働き方を検討 |
|---|

4 その他

例年実施している「就労フェア」を令和7年2月に開催予定。※内容は検討中

相談支援部会活動報告（令和6年度第1回）

1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

2 令和5年度の取組実績

（1）班体制

運営委員会のメンバーを3つの班（スキルアップ班、地域課題班、社会資源班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

（2）取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行。

① スキルアップ班

経験年数1～3年の相談支援専門員を対象に計画相談支援事業所の連携や相互支援、実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進を行った。

（具体的な取り組み）

【全体研修】グループスーパービジョン（GSV）を活用した事例検討会

班に所属する相談支援専門員が事例を出し、主任相談支援専門員のグループスーパービジョン（GSV）を受ける機会を設けた。

② 課題解決班（地域課題班）

前年度に抽出された短期入所に関する地域課題解決のため、現状把握や具体的な方法について検討を行った。

（具体的な取り組み）

【アンケート調査】短期入所における実態調査

【研修】ささえりあの取り組み、65歳切り替えの手続きについて

【その他】KP5000に掲載する情報（短期入所事業所）のレイアウト案作成

③ 社会資源班

地域の社会資源を収集・整理し、社会資源の情報共有を行った。

（具体的な取り組み）

【情報共有】児から者、者から介護への移行期について整理し、フロー図を作成した。

運営委員会（部会の前の月の第4木曜日）、部会（第3火曜日）

3 令和6年度の取組予定

（1）運営体制

部会参加者を3つの班（ワーキンググループ班、地域課題班、フォローアップ班）に分け、各班で整理した課題をもとに各班作業に取り組む。

（毎月第4月曜日に）運営委員会を開催し、当月（次回部会）の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

（2）取組予定

①（フォローアップ班）

経験が1年～3年の相談支援専門員を対象に相談支援業務の基礎がためを行っていく。

② 地域課題班

令和5年度に実施した事例検討等を始め、様々な機会に把握できた地域課題について協議を行い、意見をまとめていく。

→地域課題に焦点を絞って整理し、課題解決に向けた道筋を立てていく。

事例検討会の企画を行っていく

③（ワーキンググループ班）

適切な相談支援の実施が出来るように、相談支援業務の体制整備を行う。

→相談支援ハンドブックの見直し、更新を行い相談支援専門員共通のツールとして活用出来るようにする。

→報酬改定に伴う内容の確認、整理、共有を行っていく。

（3）スケジュール（案）

	テーマ	運営	部会
4月	-	4/16	-
5月	研修会（短期入所アンケート結果報告） 班活動	5/27	5/21
6月	研修会（報酬改定） 班活動	6/24	6/18
7月	班活動	7/22	7/16
8月	研修会（虐待防止） 班活動	8/26	8/20
9月	班活動	9/23	9/17
10月	全体活動（座談会）	10/28	10/15

※運営委員会（部会の前の月の第4木曜日）、（毎月第4月曜日）部会（第3火曜日）

精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和6年度第1回）

1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

2 令和5年度の実績

① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組みと顔の見える連携づくりを目的に年3～4回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

② 取組内容

1、全体部会

6月14日 第1回全体部会開催（出席78名、ZOOM開催）

内容・事業説明、年間計画

- ・地域移行支援基礎研修
- ・各区部会の報告
- ・グループでの意見交換

9月13日 第2回全体部会開催（出席66名、ZOOM開催）

内容・各区部会の報告

- ・精神障がい者地域移行支援アンケートの結果共有
- ・ピアサポーター活動概要（事前収録済み録画の放映）
- ・グループでの意見交換、感想共有

12月11日 第3回全体部会開催（出席69名、ZOOM開催）

内容・各区部会の報告

- ・さっぽろ香雪病院での地域移行支援の活用について体験談
- ・グループでの意見交換

2月13日 第4回全体部会開催（出席67名、ZOOM開催）

内容・各区の地域診断の結果について

- ・グループでの意見交換

2、区部会

各区3回～5回実施。地域移行支援個別給付の経過報告に加え令和5年度は区ごとに地域診断を実施。各区の課題と今後取り組むことについて話し合いを行った。

3、コアメンバー会議

- 4月（出席19名）区部会報告、全体部会年間計画
- 5月（出席10名）区部会報告、6月全体部会検討
- 6月（出席9名）6月全体部会振り返り
- 7月（出席11名）区部会報告、地域診断について、医療機関アンケートについて、9月全体部会検討
- 8月（出席9名）区部会報告、地域診断について、9月全体会検討
- 9月（出席13名）9月全体会振り返り、地域診断について
- 10月（出席9名）区部会報告、地域診断について、12月全体部会検討
- 11月（出席10名）区部会報告、12月全体部会検討、
- 12月（出席12名）12月全体部会振り返り
- 1月（出席10名）区部会報告、2月全体会検討
- 2月（出席11名）令和5年度の振り返り、令和6年度方針検討
- 3月（出席10名）精神障害にも対応した地域包括ケアシステムアドバイザー合同会議報告、令和6年度方針検討

3 令和6年度の取組予定

① 運営体制

前年度と同様（アドバイザー、副部長に変更有）

② 取組予定

- ・普及啓発活動として医療機関、一般相談支援事業所への訪問を行う
- ・地域診断から検討したロードマップの実行
- ・ピアサポーターの活躍の場の模索、ノウハウの向上
- ・地域移行支援のマニュアルを作成し各機関が使用できるようにする
- ・地域移行支援部会の中で「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に関する内容を取り扱いネットワーク作りの方法や各機関の役割について協議を行う。

1、全体部会

6月、9月、12月、2月の年4回の開催を予定。

※6月全体部会は6月11日（火）ZOOM開催予定。

内容 事業説明

各区の目標・計画発表

地域移行支援基礎研修

グループでの意見交換

2、区部会

各区年2～5回の開催を予定。

3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。4月、5月の会議は開催済み。

- ・新しいコアメンバーにて、より地域の実情に応じた部会運営を進めていく。
- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。